

平成28年度 第21回政策推進会議報告

日 時 2月21日 9時30分～10時25分

場 所 4-1会議室

出席者 22人

1 尼崎市文化ビジョン（素案）に対する市民意見公募手続の結果等について

企画財政局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・契沖の記念碑について、この間新しく除幕されたが、現在の場所は暫定となっており、そのあたりの記載はしなくてよいか。城址公園の完成後には、より目立つところへ移動させる予定としているが。

（市長）城址公園の中に配置する予定なのか。

- ・その通りである。現在、新しいものが完成している。

現在の場所は暫定である旨、記載する。

（市長）なぜ今ビジョンを改訂するのかという声もあるが、総合文化センターに色々な事業を移管し、行政だけが文化の担い手ではないということが明確な時代であると感じている。色々な方の色々な力をうまく合わせていく中で、行政がどのように関わりを持つのかという部分について、今回このビジョンで考え方が整理できたのではないかと思っている。この中で総合文化センターの位置づけや役割についても見直しを進めていこうとしており、ここから色々なことがスタートしていくという状況である。

2 「第3次尼崎市男女共同参画計画（素案）」に対する市民意見公募手続の結果及び

「第3次尼崎市男女共同参画計画（最終答申）」の受理について

市民協働局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

（市長）審議会の先生方も非常にご熱心に議論いただいております、最後まで色々な審議をしていただいた。今回は、性の多様性に配慮した人権を重点化方針に追加することとしているが、ここについては、PDCAを回すにあたって、あまり拡散しすぎるとぼやけてしまうため、絞っていくという方針で進めてはきている。今回、男女という表現を文言的に直しているとおあり、トランスジェンダーの方や同一性障害の方など、色々なケースがクローズアップされる時代になってきたこともあり、性の多様性に配慮した人権の尊重というのが結果的に重点化となった。当事者の中でも感覚の違いもあり、これが正しいというものがある訳ではないが、ここに一定の想像力を働かせていくことを徹底することが大事であるという意味で重点化したほうがよいということ、審議会にも申し上げさせてもらった。平成26年度に改訂を行った男女表現ガイドラインを、私たちがどのように活用していくかということを含め、研修や色々なことを含めて取り組んでいかなければならないと思っている。全庁に関わってくることで、発信する側は人権を侵害しようという意図で使っている訳ではないが、みんなで勉強していきたい分野だと思っているので、よろしくお願ひしたい。

3 第2次尼崎市配偶者等からの暴力(DV)対策基本計画の策定に係る「基本情報」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

市民協働局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・基本情報の「施策の策定にあたっての考え方」に記載の5つの基本目標について、表現が「女性に対する暴力」という記載になっている部分があるが、これは現行の基本目標か。それとも第3次計画のものか。

現行のものとなっている。

(市長) 第3次計画の新しいもので出していくか。

そうする。

(市長) 今般答申を受けた、最新のものに直して公表していく。

4 あまがさきし地域福祉計画(素案)に対する市民意見公募手続の結果等について

健康福祉局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) この計画は、昨年10月に施行した尼崎市自治のまちづくり条例を踏まえた形にしてもらっており、地域福祉の圏域は連協圏域であるが、そこの担い手の多様化ということについては、少し踏み込んだ表現を入れてもらっている。社会福祉協議会の推進計画もこれに合わせる形で策定できないかと投げかけてもらっており、それがうまく進むかはこれからである。平成29年度、30年度と集中的にひと咲きまち咲き担当局で地域振興のあり方について抜本的な再編に向けた検討を進めたいと思っているが、その中で色々な紛糾も予想されるが、新しいコミュニティのあり方を模索していかなければ持たない時代になってきていると思うため、これから取り組んでいきたい。

5 尼崎市避難行動要支援者避難支援指針(素案)に対する市民意見公募手続の結果等について

健康福祉局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 現在の尼崎市のホームページに防災のページはあったか。避難指示はトップページに掲載されるようになっていたと思うが。こういうものはQ&Aも含めホームページのどこに掲載するのか。

そこまで議論していなかったが、拡散するより防災関係でまとめているほうがよいと思う。

(市長) ハザードマップもどこかにアップしていたか。そういう類のところに入れていくほうがよいのでは。福祉の類のところにも掲載して、このような内容のものはダブらせて掲載させていてもよいと思うが。関連のところに掲載されているほうがよいだろう。連絡先を知っている人と、助けることができる余力がある人がずれてしまうことが、災害現場では起こる。最後には誰がこの情報を持っているのかを、知ることができるようにしておくしかない。そういう意味では、色々なところに掲載しておき、誰もがアクセスできるようにして共有しておく必要がある。

6 その他

- ・医務監から、尼崎口腔衛生センターの移転、実施事業の変更について説明。

以 上